

## おかめが池の人魚

むかし、ひとりのさむらいが、馬に乗つて旅をしていました。

おかめが池のほとりを通りかかると、むこうから、きれいな女が子どもを抱いて歩いてきました。女はさむらいに、

「水あびをしたいので、そのあいだ、この子を抱いていてくださいませんか」といいました。そして、さむらいに子どもをわたし、ザツバーンと池にとびこみました。さむらいがびっくりして見ると、女は、腰から下が魚になつて泳いでいました。女は、そのまま水の底深く消えてしまいました。

侍は肝きもをつぶしました。そして、抱いている子どもをふと見ると、子どもは冷つめたい石になつていたそうです。

おしまい。

原話..『大和の伝説（増補版）』高田十郎

再話..村上郁